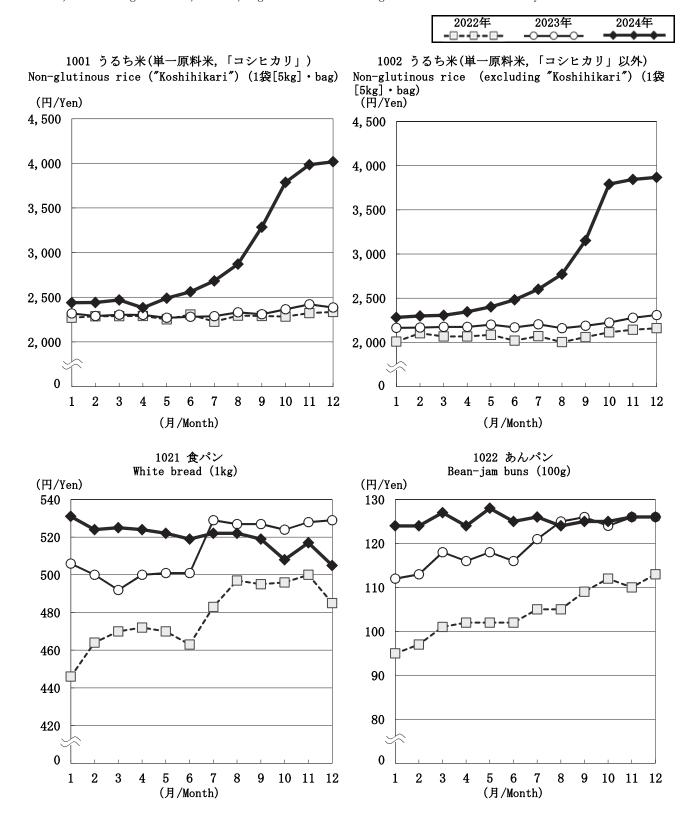
## 動-I 小 売 価 格 の 動 きー東京都区部-

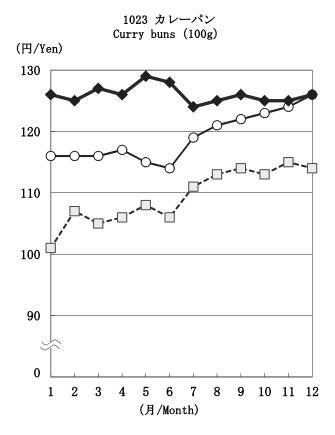
## T-I Changes in Retail Prices -Ku-area of Tokyo-

食料、光熱・水道等の56品目について、東京都区部における月別小売価格の動きを2022年、2023年及び2024年の3年間で比較する。

The following graphs compare trends in monthly retail prices in 2022, 2023 and 2024 for 56 items, including "Food", "Fuel, light and water charges" in Ku-area of Tokyo.



0000Æ	າທາງ 🗁	0004年
1 ZUZZ—	ZUZ3 <del>'T</del>	ZUZ4 <del>'T</del>
		* * *



1041 そうめん
"Somen", fine wheat noodles (1袋[300g]・pack)
(円/Yen)

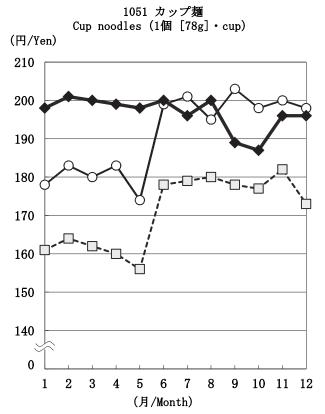
400
380
360
340
320

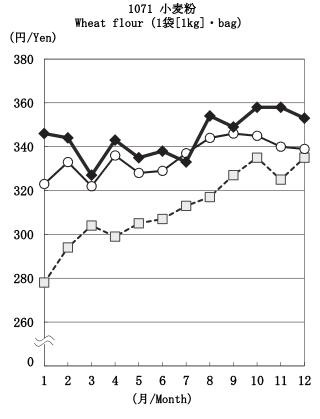
5 6

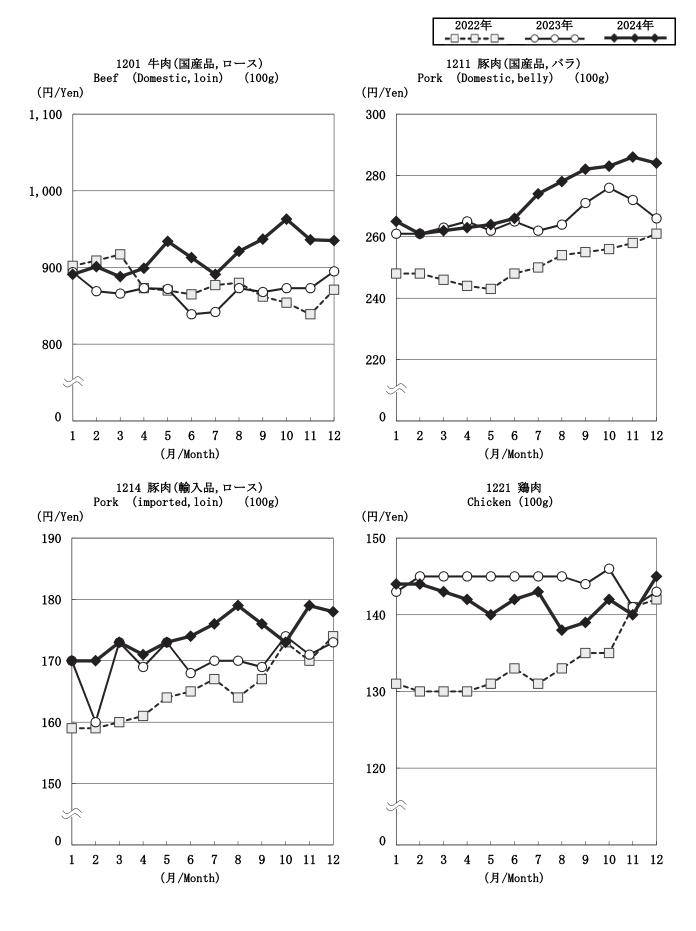
(月/Month)

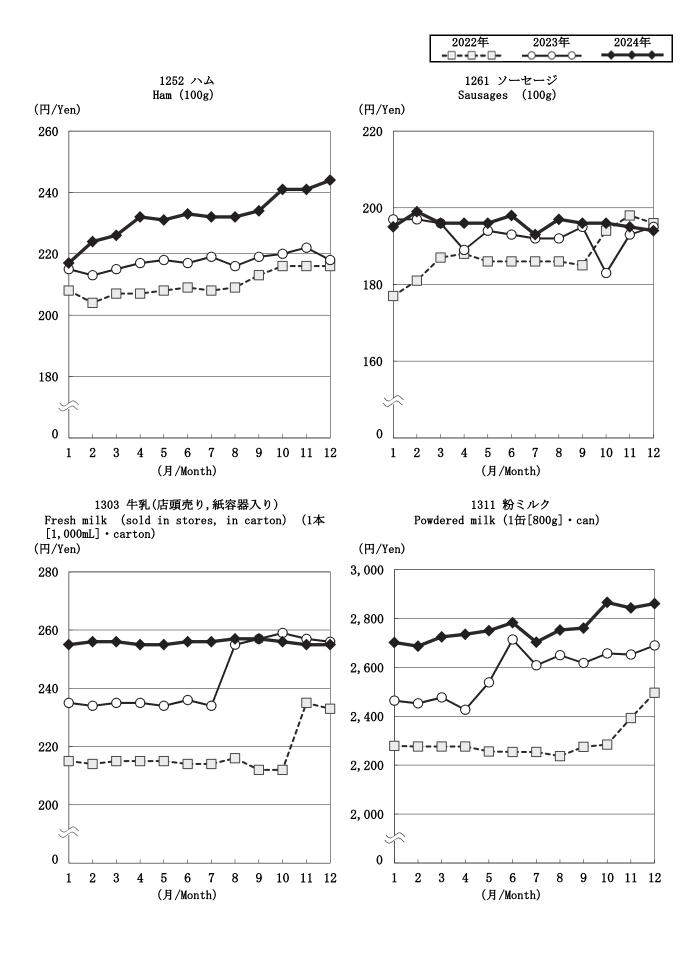
9 10 11 12

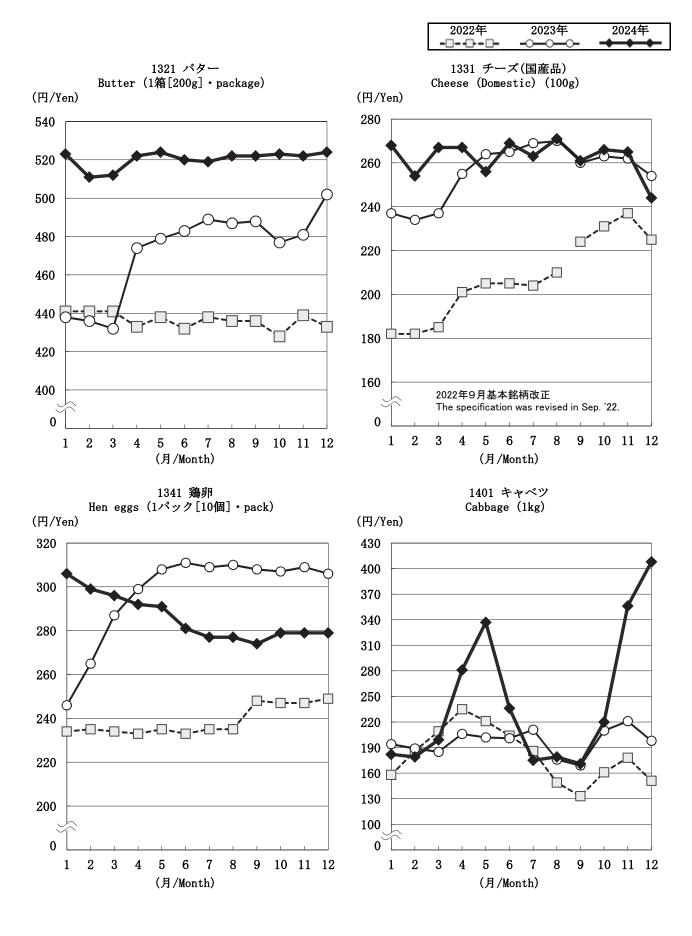
2

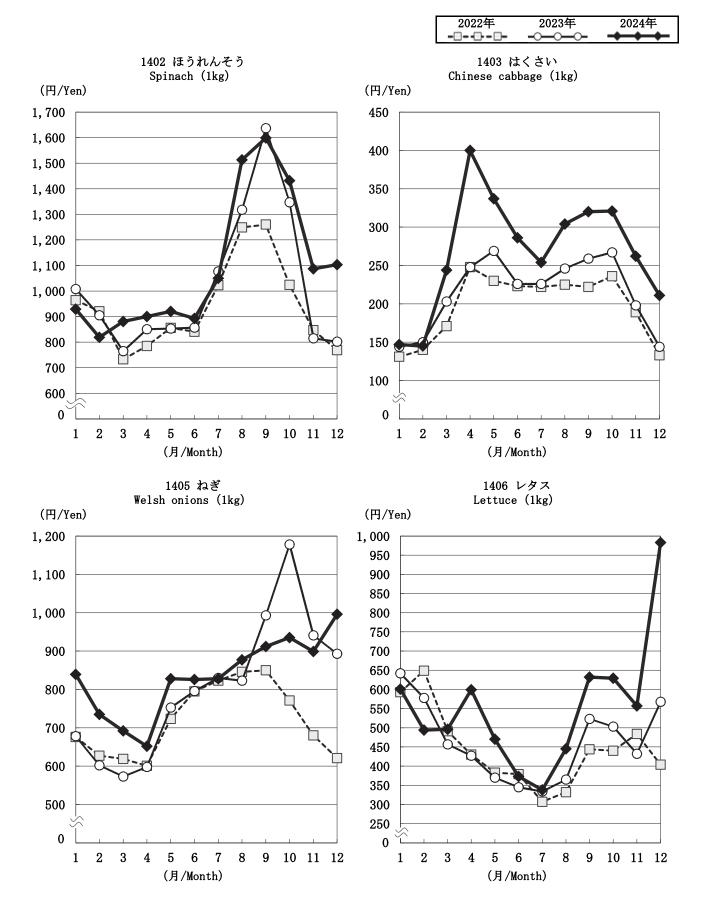


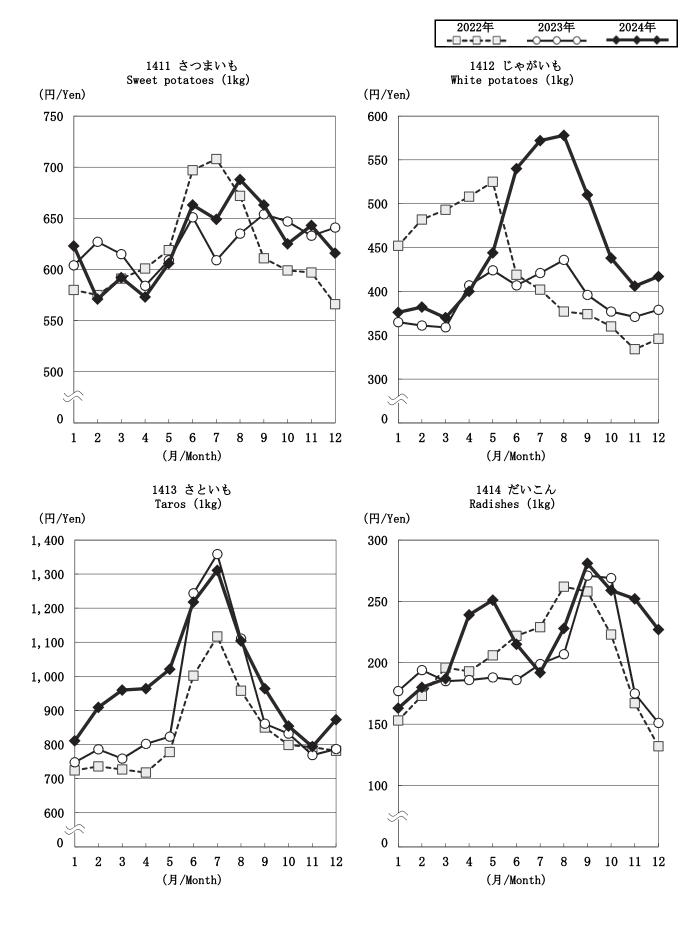


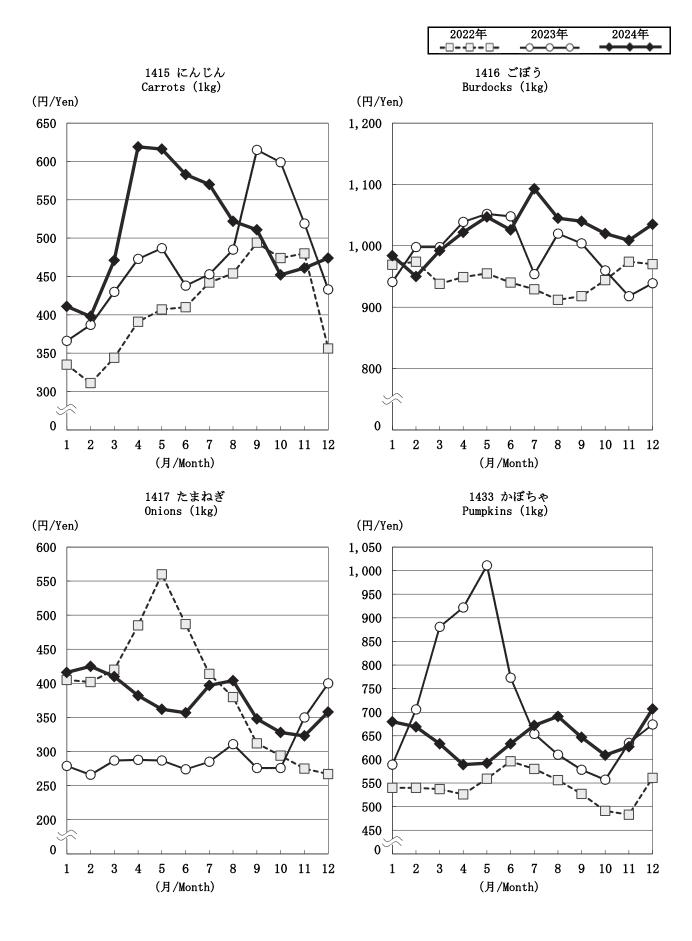


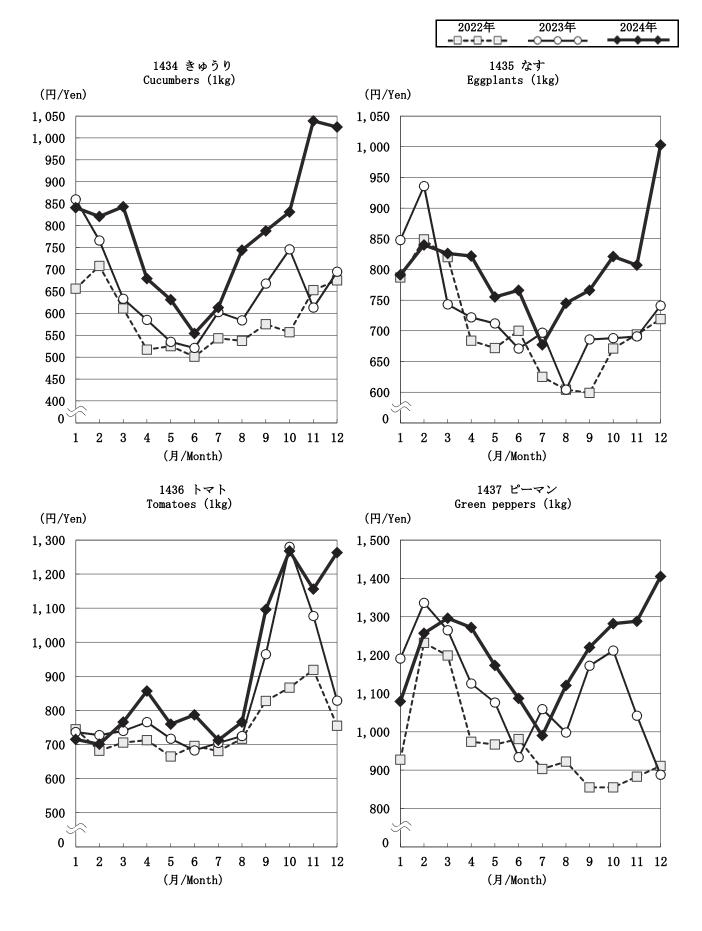


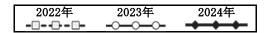




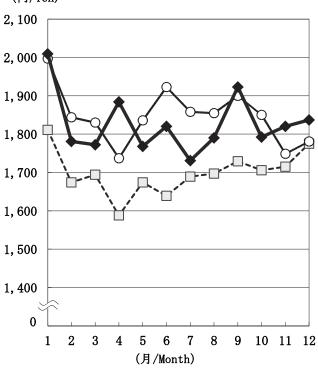




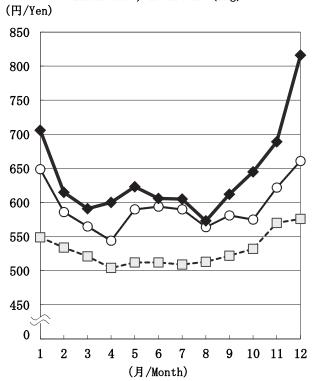




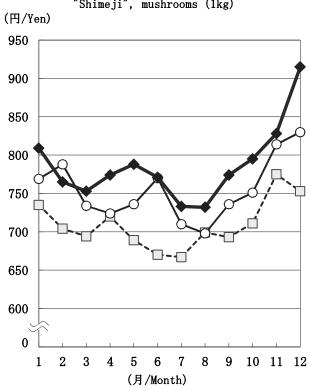
1438 生しいたけ "Shiitake", Japanese mushrooms, fresh (1kg) (円/Yen)



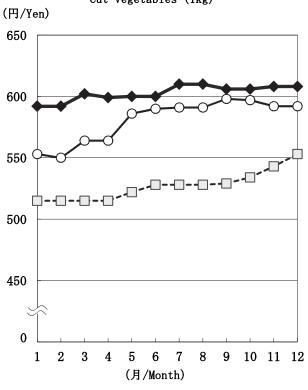
1442 えのきたけ "Enokitake", mushrooms (1kg)

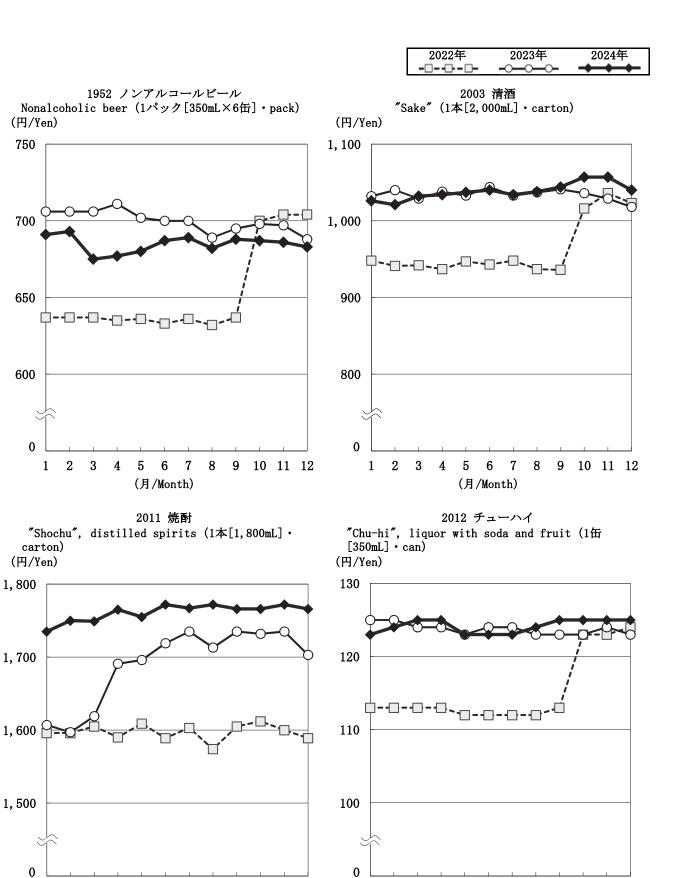


1443 しめじ "Shimeji", mushrooms (1kg)



1444 カット野菜 Cut vegetables (1kg)





1,800

1,700

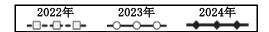
1,500

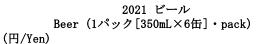
  (月/Month)

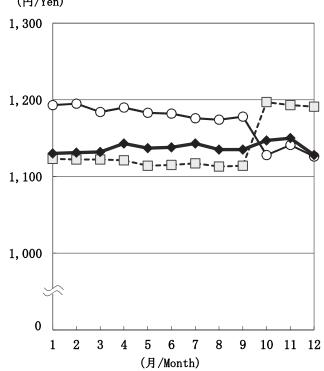
9 10 11 12

(月/Month)

9 10 11 12

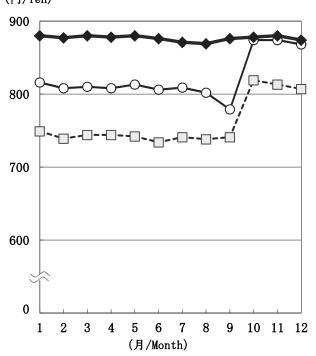






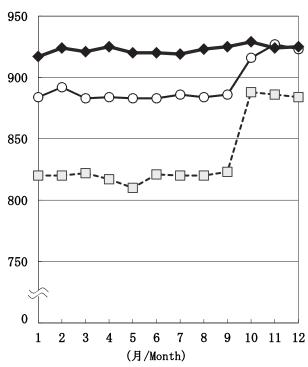
2027 ビール風アルコール飲料

Beer-flavored alcoholic beverages (1パック[350mL×6 缶]・pack) (円/Yen)

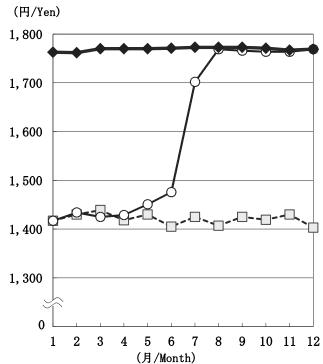


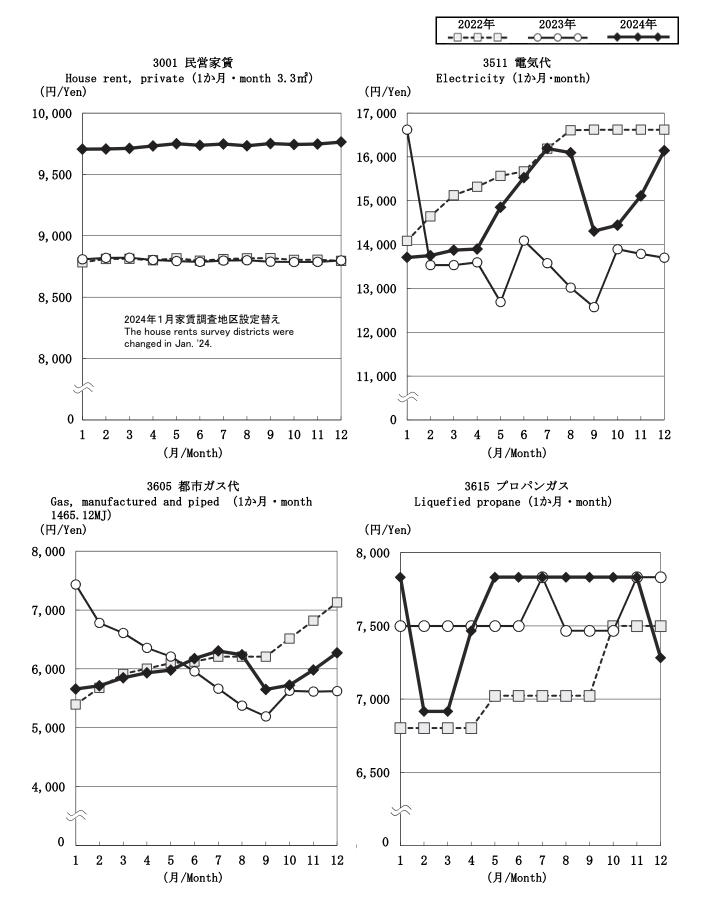
### 2026 発泡酒

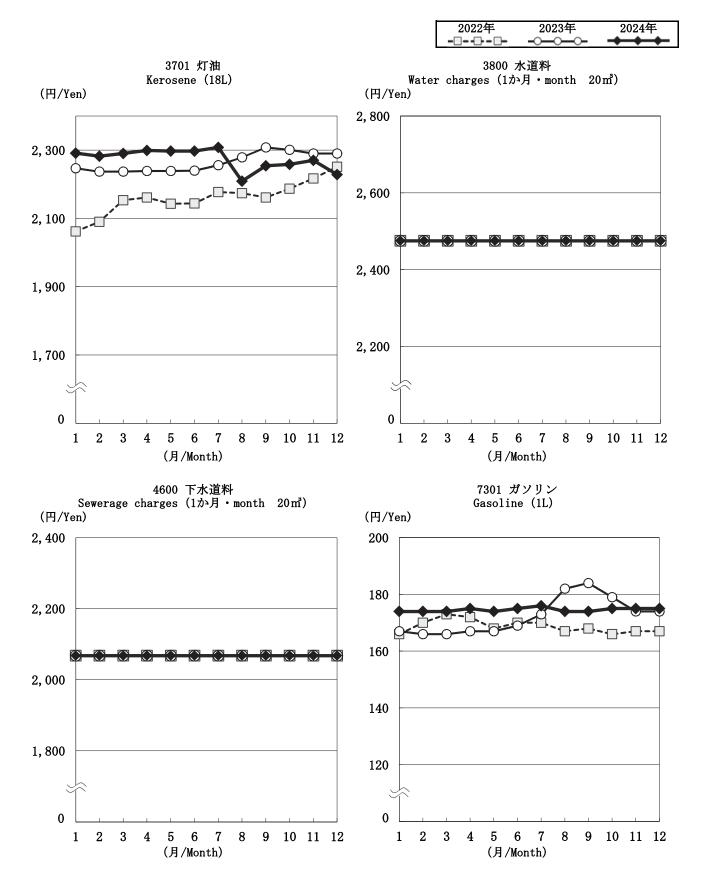
Low-malt beer (1パック[350mL×6缶]・pack) (円/Yen)



2033 ウイスキー Whisky (1本[700mL]・bottle)







### 【コラム1】うるち米の価格

2024年の夏以降、米の価格に関するニュースに触れる機会が多くなりました。2024年に主に店舗で販売される2023年産米、2024年産米が猛暑による高温障害などのため出回り量が減少したことに加え、外食需要が高まったことなどにより、価格の上昇が続きました。本コラムでは、過去と比べてどのくらい価格が上昇したのかをみていきます。

まず、1970年代から2024年までの消費者物価指数「米類」<sup>注1)</sup> の指数の動きをみてみます。米類指数は、1975年に前年比が29.3%と最も上昇幅が大きくなるなど、1970年代から1980年代半ばまで上昇傾向となっていました。その後、1994年にはその前年が低温・日照不足により不作だった影響で、米類指数は過去最大になりました。いわゆる「平成の米騒動」は、この時期の出来事です。その後、米類指数は下落傾向にありましたが、2024年に前年比が27.7%となり、1975年以来、49年ぶりの上昇幅となりました。

(図1、表1)

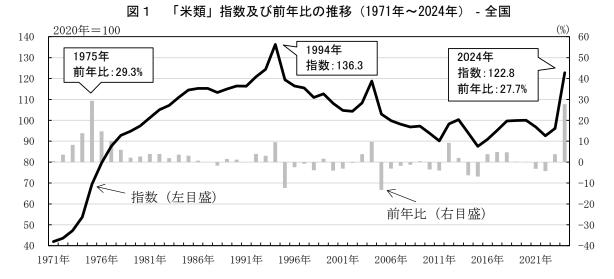


表 1 「米類」指数及び前年比の推移(1971年~2024年) - 全国

西暦年	指数	前年比(%)	西暦年	指数	前年比(%)	西暦年	指数	前年比(%)
1971年	42.0	0.5	1991年	116. 3	-0.1	2011年	90. 1	-4.0
1972	43.6	3.6	1992	120.8	3. 9	2012	98. 3	9.2
1973	47.2	8.3	1993	124. 4	3. 0	2013	100. 3	2.0
1974	53. 7	13.8	1994	136. 3	9. 5	2014	94. 0	-6. 3
1975	69.4	29. 3	1995	119. 4	-12.4	2015	87. 5	-6. 9
1976	79.7	14. 7	1996	116. 4	-2.5	2016	90. 9	3.8
1977	87.6	10.0	1997	115. 5	-0.8	2017	95. 2	4.8
1978	92.8	5.9	1998	110. 9	-3.9	2018	99. 7	4. 7
1979	94.8	2.1	1999	112. 7	1.6	2019	99. 9	0.2
1980	97.3	2.7	2000	108. 1	-4. 1	2020	100.0	0.1
1981	101.2	3.9	2001	104. 7	-3. 1	2021	96. 8	-3. 2
1982	105. 1	3.9	2002	104. 3	-0.4	2022	92. 6	-4. 3
1983	107. 1	1.9	2003	108. 3	3.8	2023	96. 1	3.8
1984	111.0	3.6	2004	118.8	9. 7	2024	122. 8	27. 7
1985	114. 5	3. 1	2005	103. 0	-13.3			
1986	115.3	0.7	2006	99. 8	-3. 1			
1987	115.3	0.0	2007	98. 1	-1.8			
1988	113.3	-1.7	2008	96. 8	-1.3			
1989	115.0	1.5	2009	97. 2	0.4			
1990	116.4	1.2	2010	93. 8	-3.5			

出典:総務省統計局「2020年基準 消費者物価指数」(1971年~2024年)

注1)「米類」は、「うるち米(コシヒカリ)」及び「うるち米(コシヒカリ以外)」による分類

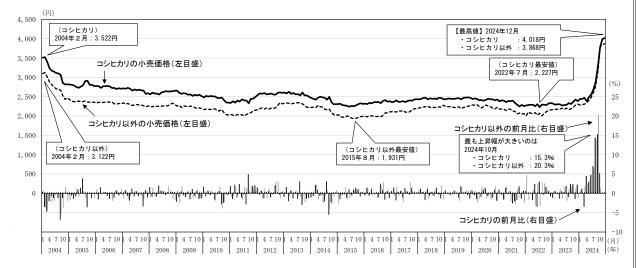
次に、小売物価統計調査による「うるち米」の小売価格をみてみます。本調査では、コシヒカリとコシヒカリ以外の銘柄米を調査していますが、「国内産、精米、産地・産年が同一のもの、袋入り (5kg 入り)」を基本銘柄としています。

東京都区部におけるうるち米の小売価格の2004年から2024年までの推移をみると、前年の冷夏の影響を受けた2004年1月から3月までは、コシヒカリ、コシヒカリ以外ともに3,000円以上でしたが、2004年2月をピークに下落傾向となり、2005年6月以降は上昇と下落を繰り返していました。しかし、2024年は上昇が続き、10月には前月比が2004年以降で最大の上昇幅となりました。

また、コシヒカリ以外のうるち米とコシヒカリとの価格差 $^{\pm 2}$ )は徐々に縮小し、2024年4月から8月までは、100円未満となりました。

(図2、表2)

図 2 うるち米の小売価格の推移(2004年1月~2024年12月) - 東京都区部



出典:総務省統計局「小売物価統計調査」(2004年1月~2024年12月)

表 2 コシヒカリとコシヒカリ以外の銘柄米の価格差(2005年、2024年) - 東京都区部

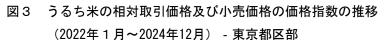
(単位:円)

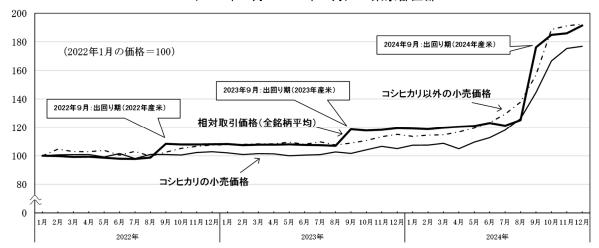
						\ +	<u> </u>
左日	小売価格		<b>压妆</b>	年日	小売	価格差	
年月	コシヒカリ	コシヒカリ以外	価格差	年月	コシヒカリ	コシヒカリ以外	個俗定
2005年 1月	2, 815	2, 424	391	2024年 1月	2, 440	2, 283	157
2月	2, 806	2, 382	424	2月	2, 441	2, 300	141
3月	2, 790	2, 372	418	3月	2, 470	2, 306	164
4月	2, 751	2, 362	389	4月	2, 384	2, 347	37
5月	2, 730	2, 391	339	5月	2, 490	2, 403	87
6月	2, 757	2, 370	387	6月	2, 561	2, 483	78
7月	2, 797	2, 373	424	7月	2, 683	2,602	81
8月	2, 905	2, 388	517	8月	2,871	2,772	99
9月	2, 909	2, 361	548	9月	3, 285	3, 152	133
10月	2,804	2, 358	446	10月	3, 787	3, 792	<b>▲</b> 5
11月	2, 807	2, 358	449	11月	3, 985	3, 843	142
12月	2, 773	2, 357	416	12月	4, 018	3, 868	150

出典:総務省統計局「小売物価統計調査」(2005年1月~12月、2024年1月~12月)

注2) 価格差=コシヒカリの小売価格-コシヒカリ以外の小売価格。2004年から2024年までで最も価格差が大きい2005年9月と 最も価格差が小さい2024年10月を含む年次により作成 最後に、過去3年間の主食用の米の取引価格の代表的な指標である相対取引価格<sup>注3)</sup>と小売物価統計調査における東京都区部の小売価格の動きを比べてみます。2022年1月の価格を100として指数化すると、2022年と2023年は新米の出回り期である9月に相対取引価格が上昇し、その後の小売価格は緩やかな上昇傾向がみられました。2024年になると、小売価格は、2024年産米の出回り期よりも前から上昇傾向がみられました。2024年産米の出回り期である2024年9月に相対取引価格が大幅に上昇すると、小売価格は更に大きく上昇しました。

(図3)





出典:総務省統計局「小売物価統計調査」(2022年1月~2024年12月)及び農林水産省「米の相対取引価格・数量」 から総務省統計局作成

注3) 相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で決定された玄米60kg当たりの価格

# 参考表 うるち米 (コシヒカリ・コシヒカリ以外) の小売価格及び前月比の推移 (2004年1月~2024年12月) - 東京都区部

Æ B	小売価格		前月比	(%)	/r: 0	小売価格		前月比	(%)	Æ B	小売価格		前月比	(%)
年月	コシヒカリ	コシヒカリ 以外	コシヒカリ	コシヒカリ 以外	年月	コシヒカリ	コシヒカリ 以外	コシヒカリ	コシヒカリ 以外	年月	コシヒカリ	コシヒカリ 以外	コシヒカリ	コシヒカリ 以外
2004年 1月 2月	3, 509 3, 522	3, 099 3, 122	0.4	0.7	2011年 1月 2月	2, 338 2, 382	2, 038 2, 020	▲ 0.4 1.9	0.5 <b>A</b> 0.9	2018年 1月 2月	2, 433 2, 438	2, 204 2, 222	0. 0 0. 2	0.3 0.8
3月 4月	3, 398 3, 237	3, 007 2, 878	▲ 3.5 ▲ 4.7	▲ 3.7 ▲ 4.3	3月 4月	2, 347 2, 399	2, 006 2, 039	▲ 1.5 2.2	▲ 0.7 1.6	3月 4月	2, 466 2, 474	2, 229 2, 240	1. 1 0. 3	0.3 0.5
5月 6月	3, 173 3, 149	2, 815 2, 753	▲ 2.0 ▲ 0.8	▲ 2.2 ▲ 2.2	5月 6月	2, 375 2, 432	2, 029 2, 035	▲ 1.0 2.4	▲ 0.5 0.3	5月 6月	2, 431 2, 460	2, 254 2, 221	▲ 1.7 1.2	0.6 <b>1</b> .5
7月	3, 111	2,700	▲ 1.2	<b>▲</b> 1.9	7月	2, 405	2,003	<b>▲</b> 1.1	<b>▲</b> 1.6	7月	2, 444	2, 229	▲ 0.7	0.4
8月 9月	3, 102 3, 063	2, 694 2, 668	▲ 0.3 ▲ 1.3	▲ 0.2 ▲ 1.0	8月 9月	2, 399 2, 330	2, 038 2, 067	▲ 0.2 ▲ 2.9	1. 7 1. 4	8月 9月	2, 453 2, 437	2, 217 2, 230	0. 4 • 0. 7	▲ 0.5 0.6
10月 11月	2, 853 2, 818	2, 524 2, 430	▲ 6.9 ▲ 1.2	▲ 5.4 ▲ 3.7	10月 11月	2, 445 2, 448	2, 086 2, 128	4. 9 0. 1	0. 9 2. 0	10月 11月	2, 473 2, 466	2, 235 2, 229	1. 5 <b>A</b> 0. 3	0.2 <b>A</b> 0.3
12月 2005年 1月	2, 820 2, 815	2, 471 2, 424	0. 1 • 0. 2	1.7 <b>1</b> .9	12月 2012年 1月	2, 493 2, 545	2, 150 2, 165	1.8	1. 0 0. 7	12月 2019年 1月	2, 433 2, 434	2, 277 2, 241	▲ 1.3 0.0	2.2
2月 3月	2, 806 2, 790	2, 382 2, 372	▲ 0.3 ▲ 0.6	▲ 1.7 ▲ 0.4	2月 3月	2, 585 2, 576	2, 188 2, 209	1.6 • 0.3	1. 1 1. 0	2月 3月	2, 453 2, 451	2, 242 2, 244	0. 8 • 0. 1	0. 0 0. 1
4月	2, 751 2, 730	2, 362 2, 391	▲ 1.4 ▲ 0.8	▲ 0.4 1.2	4月 5月	2, 592 2, 559	2, 178 2, 206	0.6 1.3	▲ 1.4 1.3	4月 5月	2, 443 2, 444	2, 229 2, 216	▲ 0.3 0.0	▲ 0.7 ▲ 0.6
6月	2, 757	2, 370	1.0	▲ 0.9	6月	2, 568	2, 177	0.4	<b>▲</b> 1.3	6月	2, 460	2, 233	0.7	0.8
7月 8月	2, 797 2, 905	2, 373 2, 388	1. 5 3. 9	0. 1 0. 6	7月 8月	2, 583 2, 557	2, 205 2, 202	0.6 <b>1</b> .0	1.3 • 0.1	7月 8月	2, 458 2, 431	2, 233 2, 191	▲ 0.1 ▲ 1.1	0.0 <b>1</b> .9
9月 10月	2, 909 2, 804	2, 361 2, 358	0. 1 <b>A</b> 3. 6	▲ 1.1 ▲ 0.1	9月 10月	2, 550 2, 604	2, 210 2, 276	▲ 0.3 2.1	0. 4 3. 0	9月 10月	2, 475 2, 474	2, 223 2, 233	1. 8 0. 0	1.5 0.4
11月 12月	2, 807 2, 773	2, 358 2, 357	0. 1 <b>1</b> . 2	0.0	11月 12月	2, 609 2, 600	2, 345 2, 315	0.2 <b>A</b> 0.3	3.0 <b>1</b> .3	11月 12月	2, 483 2, 472	2, 252 2, 267	0. 4 • 0. 4	0.9 0.7
2006年 1月	2,776	2, 330	0.1	<b>▲</b> 1.1	2013年 1月	2, 608	2, 330	0.3	0.6	2020年 1月	2, 439	2, 288	<b>▲</b> 1.3	0.9
2月3月	2, 771 2, 727	2, 356 2, 355	▲ 0.2 ▲ 1.6	1.1	2月3月	2, 585 2, 627	2, 336 2, 331	▲ 0.9 1.6	0.3 • 0.2	2月3月	2, 455 2, 443	2, 279 2, 295	0.7 <b>A</b> 0.5	▲ 0.4 0.7
4月 5月	2, 770 2, 772	2, 350 2, 355	1. 6 0. 1	▲ 0.2 0.2	4月 5月	2, 573 2, 593	2, 313 2, 331	▲ 2.1 0.8	▲ 0.8 0.8	4月 5月	2, 407 2, 416	2, 241 2, 210	▲ 1.5 0.4	▲ 2.4 ▲ 1.4
6月 7月	2, 781 2, 762	2, 362 2, 359	0. 3 • 0. 7	0.3 • 0.1	6月	2, 559 2, 566	2, 331 2, 347	▲ 1.3 0.3	0. 0 0. 7	6月	2, 395 2, 417	2, 249 2, 284	▲ 0.9 0.9	1. 8 1. 6
8月	2, 722 2, 728	2, 359	1. 4 0. 2	0.0	8月	2, 530 2, 530 2, 609	2, 333	▲ 1.4 3.1	▲ 0.6 ▲ 0.9	8月	2, 448 2, 431	2, 255 2, 241	1. 3 <b>A</b> 0. 7	▲ 1.3 ▲ 0.6
10月	2,696	2, 313 2, 311	▲ 1.2	<b>▲</b> 0.1	10月	2, 532	2, 313 2, 276	<b>▲</b> 3.0	<b>▲</b> 1.6	10月	2, 434	2, 205	0.1	▲ 1.6
11月 12月	2, 718 2, 705	2, 325 2, 312	0.8 <b>A</b> 0.5	0.6 <b>A</b> 0.6	11月 12月	2, 532 2, 496	2, 224 2, 223	0.0 <b>1</b> .4	▲ 2.3 0.0	11月 12月	2, 405 2, 428	2, 184 2, 224	▲ 1.2 1.0	▲ 1.0 1.8
2007年 1月 2月	2,714 2,706	2, 339 2, 306	0.3 <b>A</b> 0.3	1.2 <b>1</b> .4	2014年 1月 2月	2, 466 2, 440	2, 223 2, 228	▲ 1.2 ▲ 1.1	0. 0 0. 2	2021年 1月 2月	2, 382 2, 405	2, 181 2, 182	▲ 1.9 1.0	▲ 1.9 0.0
3月 4月	2, 727 2, 708	2, 327 2, 291	0.8 <b>A</b> 0.7	0.9 <b>1</b> .5	3月	2, 422 2, 474	2, 221 2, 276	▲ 0.7 2.1	▲ 0.3 2.5	3月	2, 397 2, 358	2, 176 2, 142	▲ 0.3 ▲ 1.6	▲ 0.3 ▲ 1.6
5月 6月	2, 656 2, 689	2, 275 2, 282	1.9 1.2	▲ 0.7 0.3	5月 6月	2, 498 2, 481	2, 241 2, 232	1. 0 • 0. 7	▲ 1.5 ▲ 0.4	5月 6月	2, 391 2, 385	2, 179 2, 175	1. 4 • 0. 3	1. 7 <b>A</b> 0. 2
7月	2,668	2, 296	▲ 0.8	0.6	7月	2, 473	2, 176	▲ 0.3	<b>▲</b> 2.5	7月	2, 398	2, 131	0.5	<b>▲</b> 2.0
8月 9月	2, 682 2, 663	2, 287 2, 285	0. 5 <b>A</b> 0. 7	▲ 0.4 ▲ 0.1	8月 9月	2, 421 2, 496	2, 161 2, 177	▲ 2.1 3.1	▲ 0.7 0.7	8月 9月	2, 335 2, 287	2, 115 2, 055	▲ 2.6 ▲ 2.1	▲ 0.8 ▲ 2.8
10月 11月	2, 661 2, 571	2, 269 2, 236	▲ 0.1 ▲ 3.4	▲ 0.7 ▲ 1.5	10月 11月	2, 357 2, 304	2, 093 2, 035	▲ 5.6 ▲ 2.2	▲ 3.9 ▲ 2.8	10月 11月	2, 248 2, 288	2, 077 2, 053	▲ 1.7 1.8	1. 1 <b>1</b> . 2
12月 2008年 1月	2, 590 2, 562	2, 260 2, 252	0.7 <b>1</b> .1	1.1 • 0.4	12月 2015年 1月	2, 308 2, 311	2, 018 2, 035	0.2	▲ 0.8 0.8	12月 2022年 1月	2, 257 2, 272	2, 059 2, 010	▲ 1.4 0.7	0.3 <b>A</b> 2.4
2月	2,604	2, 234	1.6	<b>▲</b> 0.8	2月	2, 314	1, 981	0.1	<b>▲</b> 2.7	2月	2, 287	2, 103	0.7	4.6
3月	2, 580 2, 578	2, 266 2, 247	▲ 0.9 ▲ 0.1	1.4 • 0.8	3月	2, 279 2, 271	1, 969 1, 972	▲ 1.5 ▲ 0.4	▲ 0.6 0.2	3月	2, 290 2, 292	2, 068 2, 067	0. 1 0. 1	▲ 1.7 0.0
5月 6月	2, 556 2, 607	2, 258 2, 255	▲ 0.9 2.0	0.5 • 0.1	5月 6月	2, 265 2, 239	2, 002 1, 970	▲ 0.3 ▲ 1.1	1.5 1.6	5月 6月	2, 253 2, 308	2, 086 2, 020	▲ 1.7 2.4	0.9 ▲ 3.2
7月 8月	2,626 2,642	2, 260 2, 265	0. 7 0. 6	0.2	7月 8月	2, 263 2, 253	1, 946 1, 931	1. 1 <b>A</b> 0. 4	▲ 1.2 ▲ 0.8	7月 8月	2, 227 2, 294	2, 072 2, 004	▲ 3.5 3.0	2.6 <b>A</b> 3.3
9月 10月	2, 631 2, 639	2, 267 2, 307	▲ 0.4 0.3	0. 1 1. 8	9月	2, 275 2, 307	1, 942 1, 961	1. 0 1. 4	0.6 1.0	9月 10月	2, 292 2, 284	2, 061 2, 114	▲ 0.1 ▲ 0.3	2.8 2.6
11月 12月	2, 641 2, 651	2, 330 2, 299	0. 1	1.0	11月	2, 331 2, 312	1, 983 1, 990	1.0	1. 1	11月	2, 323 2, 336	2, 143 2, 161	1. 7	1.4
2009年 1月	2, 659	2, 258	0.3	<b>▲</b> 1.8	2016年 1月	2, 318	1, 990	0.3	0.0	2023年 1月	2, 319	2, 165	▲ 0.7	0.2
2月 3月	2, 601 2, 577	2, 277 2, 219	▲ 2.2 ▲ 0.9	0.8 <b>A</b> 2.5	2月 3月	2, 309 2, 343	1, 980 2, 008	▲ 0.4 1.5	▲ 0.5 1.4	2月 3月	2, 292 2, 306	2, 169 2, 177	▲ 1.2 0.6	0. 2 0. 4
4月 5月	2, 589 2, 575	2, 261 2, 251	0.5 <b>A</b> 0.5	1.9 • 0.4	4月 5月	2, 329 2, 357	2, 005 1, 994	▲ 0.6 1.2	▲ 0.1 ▲ 0.5	4月 5月	2, 303 2, 271	2, 177 2, 201	▲ 0.1 ▲ 1.4	0. 0 1. 1
6月 7月	2, 549 2, 559	2, 238 2, 254	▲ 1.0 0.4	▲ 0.6 0.7	6月	2, 357 2, 360	1, 985 1, 991	0.0	▲ 0.5 0.3	6月	2, 283 2, 289	2, 171 2, 205	0. 5 0. 3	▲ 1.4 1.6
8月	2, 520 2, 549	2, 246 2, 218	▲ 1.5 1.2	▲ 0.4 ▲ 1.2	8月	2, 333 2, 391	1, 980 2, 019	▲ 1.1 2.5	▲ 0.6 2.0	8月	2, 333 2, 310	2, 162 2, 188	1. 9 <b>1</b> . 0	▲ 2.0 1.2
10月 11月	2, 533 2, 549	2, 192 2, 212	▲ 0.6 0.6	1.2 0.9	10月 11月	2, 411 2, 372	2, 079 2, 086	0.8	3. 0 0. 3	10月 11月	2, 367 2, 422	2, 225 2, 279	2. 5 2. 3	1. 7 2. 4
12月	2,512	2, 190	▲ 1.5	<b>▲</b> 1.0	12月	2, 384	2, 107	▲ 1.6 0.5	1.0	12月	2, 386	2, 311	<b>▲</b> 1.5	1.4
2010年 1月 2月	2, 479 2, 522	2, 166 2, 178	▲ 1.3 1.7	▲ 1.1 0.6	2017年 1月 2月	2, 355 2, 370	2, 111 2, 112	▲ 1.2 0.6	0. 2 0. 0	2024年 1月 2月	2, 440 2, 441	2, 283 2, 300	2. 3 0. 0	▲ 1.2 0.7
3月 4月	2, 503 2, 519	2, 173 2, 167	▲ 0.8 0.6	▲ 0.2 ▲ 0.3	3月 4月	2, 406 2, 362	2, 100 2, 137	1.5 <b>1</b> .8	▲ 0.6 1.8	3月 4月	2, 470 2, 384	2, 306 2, 347	1. 2 <b>A</b> 3. 5	0.3 1.8
5月 6月	2, 508 2, 506	2, 185 2, 183	▲ 0.4 ▲ 0.1	0.8 • 0.1	5月 6月	2, 371 2, 385	2, 124 2, 143	0. 4 0. 6	▲ 0.6 0.9	5月 6月	2, 490 2, 561	2, 403 2, 483	4. 4 2. 9	2. 4 3. 3
7月	2, 465	2, 141	<b>▲</b> 1.6	<b>▲</b> 1.9	7月	2, 359	2,098	<b>▲</b> 1.1	<b>▲</b> 2.1	7月	2, 683	2,602	4.8	4.8
8月 9月	2, 463 2, 478	2, 130 2, 167	▲ 0.1 0.6	▲ 0.5 1.7	8月 9月	2, 391 2, 403	2, 101 2, 108	1.4	0. 1 0. 3	8月 9月	2, 871 3, 285	2, 772 3, 152	7. 0 14. 4	6. 5 13. 7
10月 11月	2, 409 2, 350	2, 082 2, 037	▲ 2.8 ▲ 2.4	▲ 3.9 ▲ 2.2	10月	2, 395 2, 429	2, 168 2, 185	▲ 0.3 1.4	2. 8 0. 8	10月	3, 787 3, 985	3, 792 3, 843	15. 3 5. 2	20.3
12月	2, 347	2, 027	▲ 0.1	▲ 0.5	12月	2, 434	2, 197	0.2	0.5	12月	4, 018	3, 868	0.8	0.7

出典:総務省統計局「小売物価統計調査」(2004年1月~2024年12月)

### 【参考資料】

- ·総務省統計局 「消費者物価指数年報 令和6年」
- ・農林水産省 「米に関するマンスリーレポート」(令和7年2月号) 「米をめぐる状況について」(令和7年8月) 「今般の米の価格高騰の要因や対応の検証」(令和7年8月)

### 【コラム2】コーヒーの価格

日常的に、コーヒーを飲む機会は多いのではないでしょうか。自宅でインスタントコーヒーを入れて ほっと一息ついたり、仕事の合間の目覚ましとしてコンビニで買ったコーヒーを飲んだり、喫茶店で丁 寧に入れられた一杯をゆっくり楽しんだり、と様々なシーンが思い浮かびます。

本コラムでは、コーヒーを取り巻く状況と価格の動き等についてみていきます。

アカネ科の植物である「コーヒーノキ」の果実(コーヒーチェリー)の中にある種子をコーヒー豆といいますが、飲用のために商業的に栽培されているコーヒーは主に二種で、「アラビカ種」と「ロブスタ種」です。アラビカ種は世界のコーヒーの生産量全体の約6割を占める品種で、ストレートでの飲用に適しています。一方のロブスタ種は強い苦味や香ばしい香りが特徴で、主にブレンドに使用されています。

(表1)

コーヒーの栽培には、降水量、日照時間、気温、標高などの条件がそろう必要があり、生産国は赤道を中心に北緯25度から南緯25度までの熱帯地帯に多く分布し、「コーヒーベルト」と呼ばれています。

		アラビカ種		ロブスタ種			
順位	玉	生産量 (1,000t)	全体に対する割合 (%)	玉	生産量 (1,000t)	全体に対する割合(%)	
1	ブラジル	2622. 0	44. 3	ベトナム	1680. 0	37. 0	
2	コロンビア	792. 0	13. 4	ブラジル	1260.0	27. 7	
3	エチオピア	637. 8	10.8	インドネシア	558. 0	12. 3	
4	ホンジュラス	331. 2	5. 6	ウガンダ	340. 2	7. 5	
5	ペルー	232. 9	3. 9	インド	288. 0	6. 3	
_	その他	1305.6	22.0	その他	416.0	9. 2	
計		5921. 5	100.0		4542. 2	100.0	
рΙ		3921.3	(56. 6)		4342.2	(43.4)	

表 1 品種別世界のコーヒー生産量 (2024/2025シーズン)

※ ( ) 内の数値は、アラビカ種とロブスタ種の生産量の合計に対する割合

出典:アメリカ合衆国農務省(USDA)外国農業局(FAS)のデータベース
(https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery)から総務省統計局が作成

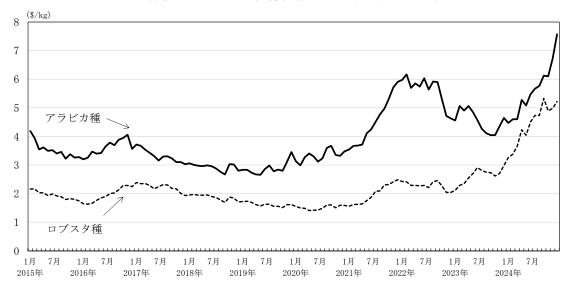
コーヒーの生産国では、近年、異常気象が発生しています。世界最大のアラビカ種の生産国であるブラジルでは、2021年に霜害が、2023年にはエルニーニョ現象による干ばつが影響し、生産量が減少しました。コロンビアにおいても悪天候が影響したことで生産が減少し、アラビカ種の供給が不足することになりました。また、ロブスタ種の生産国においても異常気象が発生しており、ベトナムでは2023年にエルニーニョ現象による干ばつにより、インドネシアでは過剰な降雨によるコーヒーチェリーの損傷により減産となりました。

こうしたことから、コーヒーの国際価格は高騰が続いています。アラビカ種は2020年の後半から上昇傾向となり、2022年の前半に上昇と下落を繰り返した後、2022年の後半から下落傾向となりましたが、2023年の終わりからは再び上昇傾向となりました。2024年12月の1kg当たりのアラビカ種の国際価格は7.57ドルとなっており、2015年1月の価格(4.19ドル)の1.8倍となっています。ロブスタ種について

は2020年の半ば頃から、アラビカ種と比較して緩やかな上昇傾向がみられましたが、2023年の終わり頃からはそれまでと比較して大幅な上昇がみられるようになりました。

(図1)





出典:世界銀行(World Bank) "Commodity Markets Outlook" (2015年1月~2024年12月)

次に、日本におけるコーヒーの価格をみていきます。小売物価統計調査では、次のような品目・銘柄 の価格を調べています。

(表2)

### 表2 コーヒーの調査銘柄(2015年~2024年)

		我 2			
銘柄符号	品目名	基本銘柄	単位	改正年月	年次
1001		瓶入り(90~100g入り),「ネスカフェ ゴールドブレンド」	100g	2014年3月	2015年~2016年
1921	インスタントコーヒー	瓶入り(80~90g入り),「ネスカフェ ゴールドブレンド」	100g	2017年10月	2017年~2024年
		レギュラーコーヒー(粉),ブレンド、袋入り(400~460g入り),「UCC ゴールドスペシャル スペシャルブレンド」,「グランドテイスト コク深いリッチブ レンド」又は「ブレンディ まろやかまろやか スペシャル・ブレンド」	100g	2015年4月	2015年
		レギュラーコーヒー (粉) , ブレンド, 袋入り $(360~430~g~h)$ , 「 $UCC$ ゴールドスペシャル スペシャルブレンド」又は「グランドテイスト コク深いリッチブレンド」	100g	2016年10月	2016年
1922	コーヒー豆	レギュラーコーヒー(粉),ブレンド,袋入り(400~430g入り),「UCC ゴールドスペシャル スペシャルブレンド」	100g	2017年11月	2017年~2020年
		レギュラーコーヒー(粉),ブレンド,袋入り(320~350g入り)	100g	2021年10月	2021年
		レギュラーコーヒー(粉), ブレンド, 袋入り(280~330g入り), 「UCC ゴールドスペシャル スペシャルブレンド」, 「グランドテイスト コク深いリッチブ レンド」又は「ちょっと贅沢な珈琲店 スペシャル・ブレンド」	100g	2022年4月	2022年
		レギュラーコーヒー(粉), ブレンド, 袋入り(240~300g入り), 「UCC ゴールドスペシャル スペシャルブレンド」, 「グランドテイスト コク深いリッチブ レンド」又は「ちょっと贅沢な珈琲店 スペシャル・ブレンド」	100g	2023年9月	2023年~2024年
1923	コーヒー飲料	コーヒー, ペットボトル入り (900~1, 000mL入り)	1000mL	2013年6月	2015年~2023年
1923	コーヒー臥村	コーヒー, ペットボトル入り (900~950mL入り)	1000mL	2024年11月	2024年
1924	コーヒー飲料 (セルフ式)	コンビニエンスストアにおけるコーヒー(アイスコーヒーを除く), セルフサービス 式, 店頭で抽出するもの	1杯	2015年1月 <sup>注)</sup>	2015年~2024年
	コーヒー	喫茶店(セルフサービス店及びコーヒースタンドを除く)におけるコーヒー代、アイス コーヒーは除く	1杯	2013年1月	2015年
2162	- 1. (/1/42)	喫茶店(セルフサービス店及びコーヒースタンドを除く)におけるコーヒー、アイス コーヒーは除く	1杯	2016年1月	2016年~2018年
	コーヒー (外食)	喫茶店(セルフサービス店及びコーヒースタンドを除く)におけるコーヒー、アイス コーヒーは除く、持ち帰りは除く	1杯	2019年10月	2019年~2024年
	コーヒー	セルフサービス店(ファーストフード店及びコーヒースタンドを除く)におけるコーヒー(アイスコーヒーを除く), 小サイズ	1杯	2015年1月 <sup>注)</sup>	2015年
2165	- 1. (HA)	セルフサービス店(ファーストフード店及びコーヒースタンドを除く)におけるコーヒー(アイスコーヒーを除く), 小サイズ	1杯	2016年1月	2016年~2018年
	コーヒー (外食)	セルフサービス店 (ファーストフード店及びコーヒースタンドを除く) におけるコーヒー (アイスコーヒーを除く), 小サイズ, 持ち帰りは除く	1杯	2019年10月	2019年~2024年

- ※ セルフサービス店は、購入した飲み物などを客が席に運ぶ方式を取るコーヒーショップのこと。
- 注)「1924 コーヒー飲料(セルフ式)」及び「2165 コーヒー(外食)」(セルフサービス店におけるコーヒー)は、 2015年 1 月に調査開始

銘柄符号	品目名	本コラムでの名称
1921	インスタントコーヒー	インスタントコーヒー
1922	コーヒー豆	レギュラーコーヒー (粉)
1923	コーヒー飲料	コーヒー (ペットボトル)
1924	コーヒー飲料(セルフ式)	コーヒー (コンビニ)
2162	コーヒー(外食)(喫茶店)	コーヒー(喫茶店)
2165	コーヒー (外食) (セルフサービス店)	コーヒー (セルフサービス店)

表3 調査品目・銘柄の言い換え

過去10年間のコーヒーの小売価格の推移をみると、いずれも上昇傾向となっています。特に、コーヒー (喫茶店) は全ての年で前年の価格と比べて上昇しています。コーヒー (コンビニ) は、2020年を除き、2015年から2021年まで同じ価格でしたが、2022年以降は毎年上昇しています。

(図2、図3)

図2 コーヒーの小売価格の推移① (2015年~2024年) - 東京都区部

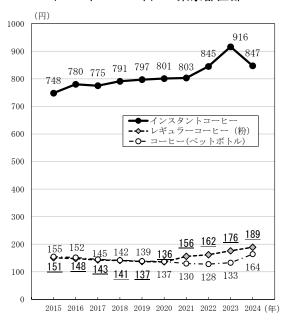
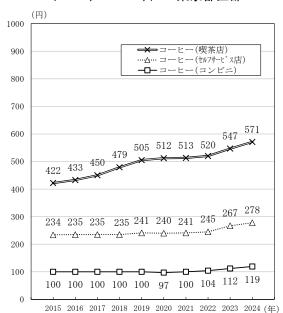


図3 コーヒーの小売価格の推移② (2015年~2024年) - 東京都区部



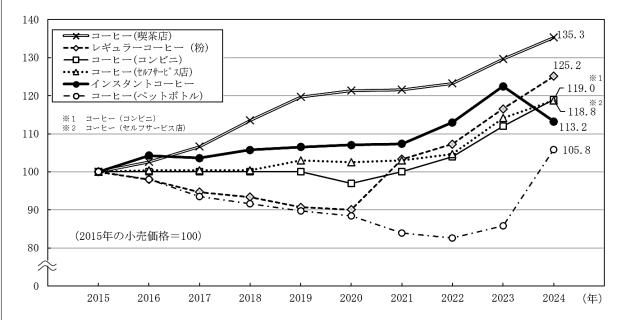
出典:総務省統計局「小売物価統計調査(動向編)」年次結果(2015年~2024年)

- ※ 図2の下線が引かれた値はレギュラーコーヒー(粉)の小売価格
- ※ 図2のレギュラーコーヒー(粉)は調査年次により調査対象の商標が異なる場合がある。また、インスタントコーヒー及びコーヒー(ペットボトル)は銘柄改正により基本銘柄の容量が変更となっているが、調査単位に変更はない。各年次の調査銘柄の詳細は表2を参照
- ※ 図3のコーヒー (コンビニ) は全国統一価格

これら6品目の価格変化を比較するため、2015年の価格を100として指数化すると、2022年以降、多くの品目で上昇傾向が顕著になっています。また、2024年は2015年と比べてコーヒー(喫茶店)は3割以上、レギュラーコーヒー(粉)は2割以上、コーヒー(コンビニ)及びコーヒー(セルフサービス店)は2割近く高くなったことが分かります。

(図4)





出典:総務省統計局「小売物価統計調査(動向編)| 年次結果(2015年~2024年)から総務省統計局が作成

こうした状況には、先に述べたコーヒーの国際価格の高騰が大きく影響しているものと考えられますが、ほかにも為替相場の円安傾向や、人件費、輸送コスト、製造コストの上昇なども要因として考えられます。

農林水産省によると、コーヒーノキが気候変動に弱い作物である点、コーヒー生産が発展途上国が中心である点から、コーヒー産業における様々な環境・社会的課題(コーヒー豆生産においては、生産者に利益が配分されにくいサプライチェーン構造になっていることから、奴隷労働、外国人労働者や先住民族に対する人権問題、児童労働の問題などがある)が提起されてきたところです。これらの課題への対処としてコーヒー業界では「持続可能性」を考慮した調達(第三者認証の活用、自社調達基準の設定など)が進められています。価格が上昇している背景には、コーヒーを巡る厳しい現状があります。

#### 【参考資料】

- · FAO (国際連合食糧農業機関)
  "Global coffee market and recent price developments" (2025年3月14日)
- ・農林水産省 「令和4年度生産国とのパートナーシップを通じた持続可能なサプライチェーンの構築推進委 託事業 報告書」(令和5年3月10日)